



## 駅にあふれるやさしさ

大阪府立工芸高等学校

3年

ながい こゆき  
永井 小雪

私達が普段利用している駅には気づけていないいろいろな「やさしさ」がたくさんあります。不特定多数の人が利用する駅に「やさしさ」は必要で、当たり前になっている「やさしさ」に気づけていないと思い調査しました。

私が調査した昭和町駅は、周辺に学校が多く学生の通学や通勤に利用されています。まずプラットフォームにはホーム柵が設けられていて、転落や電車との接触事故などを防止する工夫がされています。ホーム柵には号車や方面の説明が書かれており、またピクトグラムでの注意事項や日本語・英語・韓国語・中国語の4カ国語での説明が書かれています(写真1)。他にもホーム柵には鉄道バリアフリー料金活用施設と記されていました。鉄道バリアフリー化が大阪市内でも進んでいるということがわかりました(写真2)。

駅のホームにはまだまだ「やさしさ」があります。ホームの柱には「歩きスマホ禁止」と書かれたポスターが貼られていました。電車や駅でもスマホを使用するのが普通になった今、歩きスマホでの事故が多く発生しています。このポスターはそんな事故を防いでくれる「やさしさ」だと感じました(写真3)。

ポスター以外にもエレベーターの表示や出口の表示が細かく記されていました。改札の

方へ向かうと点字ブロックが改札へと繋がっていて、目が不自由な人が安心して改札に向かえるように配慮されていました。また、トイレは男性、女性、バリアフリートイレに分かれていて音声ガイドによって場所を説明してくれていました。バリアフリートイレには便座の近くに手すりが設けられ、一般のトイレの個室と比べると広々としているので、車いすの人でも利用しやすくなっていました。

駅から外に出ると、階段の付近では音声ガイドによる出口や駅などの案内がされていました。昭和町駅は小さい駅ですが、駅やホーム、駅に入る前から「やさしさ」であふれていました。

私達の当たり前になっている駅の「やさしさ」をたくさん発見することができました。これらからも電車を利用することが多くあると思いますが発見した「やさしさ」を忘れずに、感謝の気持ちを持って利用していきたいです。



写真1



写真2



写真3